

大友皇子  
天智天皇長子大友皇子  
御年二十五歳歿地幸湖



壬申の乱一三五〇年記念企画展

# 大友皇子と壬申の乱

2022年 10月8日(土) ▶ 11月23日(水・祝)

休館日：月曜日(10月10日をのぞく)、10月11日(火)、11月4日(金)  
 観覧料：一般800円(640円)、高大生400円(320円)、小中生200円(160円)  
 ※( )内は前売、15名以上の団体、大津市内在住の65歳以上の方、大津市内在住の障がい者の方と介護保険の要介護者・要支援者の方の割引料金(証明書等をご提示ください)。  
 ※前売券は、大津市内観光案内所(大津駅・石山駅・堅田駅)で9月10日から11月23日まで販売。

主催：大津市歴史博物館  
 後援：朝日新聞大津総局、radio、NHK大津放送局、共同通信社大津支局、京都新聞、KBS京都、産経新聞社、時事通信社大津支局、(株)ZTV滋賀放送局、中日新聞社、日本経済新聞社大津支局、朝日新聞大津支局、読売新聞大津支局



大津市歴史博物館

〒520-0037 大津市御陵町2-2 TEL: 077-521-2100  
<https://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>

上：大津宮中庭建物復元模型 本館蔵  
 中央：小倉遊亀 或る御神像 滋賀県立美術館蔵  
 下：古代の瀬田橋復元模型 本館蔵  
 背面上：大津廣寺出土軒丸瓦 大津市埋蔵文化財調査センター保管  
 背面左：葬り塚園 法傳寺蔵  
 背面下：崇福寺跡出土軒丸瓦 滋賀県立琵琶湖文化館蔵



※1999年「図説 大津の歴史」より



復弁蓮華文軒丸瓦 不破関跡出土 飛鳥時代 不破関資料館蔵  
 方形三尊埴仏 川原寺裏山遺跡出土 飛鳥時代 明日香村教育委員会蔵  
 鉄鏃 石神遺跡出土 飛鳥時代 奈良文化財研究所蔵  
 土師器・須恵器 宮滝遺跡(吉野宮跡)出土 飛鳥時代 奈良県立橿原考古学研究所蔵

## 企画展 関連講座

いずれも事前申込が必要 講演会・講座・現地見学会は有料 (詳しくは大津市歴史博物館ホームページへ)

| 記念講演会  |  |
|--|--|
| 会場 大津市役所 別館1階大会議室 定員 100人 時間 14:00~15:30                               |  |
| 10月10日(月・祝)「壬申の乱とその時代」 講師:早川 万年氏 (元岐阜大学教授)                             |  |
| れきはく講座   |  |
| 会場 大津市歴史博物館講堂 定員 80人 時間 14:30~16:00                                    |  |
| 10月15日(土)「あのね、壬申の乱ってね…」 -1350年の伝言ゲームと宮滝遺跡の調査前史- 講師:中東 洋行氏(吉野歴史資料館学芸職員) |  |
| 現地見学会  |  |
| 見学予定場所 滋賀里〜錦織 定員 20人   |  |
| 10月27日(木) 午後「近江大津宮関連史跡をめぐる」 見学予定場所 瀬田唐橋周辺 定員 20人                       |  |
| 11月10日(木) 午後「壬申の乱伝承地をめぐる」  |  |
| スライドトーク 40分程度  |  |
| 会場 大津市歴史博物館講堂 時間 14:00~  |  |
| 10月28日(金)、11月12日(土) 学芸員が企画展のみどころをお話しします。                               |  |
| 11月5日(土)「壬申の乱の『山前』を考える」  |  |
| 会場 大津市歴史博物館講堂 時間 14:00~  |  |
| 講師:松浦 俊和氏(元大津市歴史博物館長)  |  |



大津市歴史博物館  
 〒520-0037 滋賀県大津市御陵町 2-2  
 TEL: 077-521-2100  
 HP: <https://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>

| 市内関連 展覧会・講演会                              | 【壬申の乱1350年記念事業】会場 大津市長等創作展示館・三橋節子美術館                         |
|---|--|
| 鈴木靖将が描いた壬申の乱絵画展<br>会期 10/29(土)~11/23(水・祝) | 鈴木靖将氏講演会と大津京コンサート<br>日時 11/3(木・祝) 13:30~15:00                |
| 詳しくは長等創作展示館・三橋節子美術館 077-523-5101へ         | 大友暢氏(愛荘町立歴史文化博物館学芸員)講演会「大友皇子とその遺跡」<br>日時 11/6(日) 13:30~14:30 |

# 大友皇子と壬申の乱



大友皇子像 江戸時代 法傳寺蔵  
展示期間:10月8日~30日

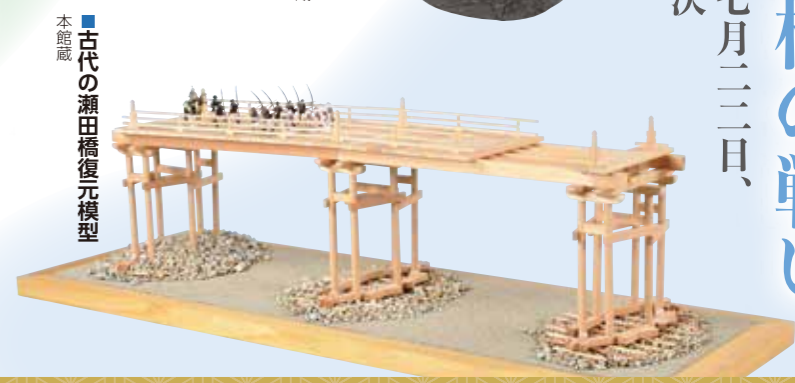
六七二年、日本古代史上、最大の争乱といわれる壬申の乱が起こりました。これは大友皇子と大海人皇子による皇位継承の争いでした。大友皇子は、大津に都を遷した先帝・天智天皇の長子で、太政大臣の地位にあり、近江朝廷の中心人物でした。一方、天智天皇の弟・大海人皇子は、天智天皇の晩年に政權中樞を離れて吉野宮へ退きながらも、多くの支持を得て兵を集め、乱の勝者となりました。その後、再び都を飛鳥に遷し即位した天武天皇は、天皇を中心とした国づくりを進めていきました。

国史として編纂された『日本書紀』は、壬申の乱の経緯を詳しく伝えますが、大友皇子の最期の地は「山前」と記されるのみです。後世、大友皇子は即位の有無が議論になるとともに、埋葬地についても異説や伝承が多数みられ、時代によって認識が変化してきました。

本展では、古代の壬申の乱から、明治政府によって大友皇子が弘文と諡号され、弘文天皇陵が定められた近代の動向までを、各地の出土品や歴史資料から紹介します。

## 瀬田橋の戦い

六七二年七月二三日、  
両軍が対決



■古代の瀬田橋復元模型  
本館蔵

■無文銀銭  
唐橋遺跡出土  
飛鳥時代  
滋賀県立琵琶湖博物館蔵

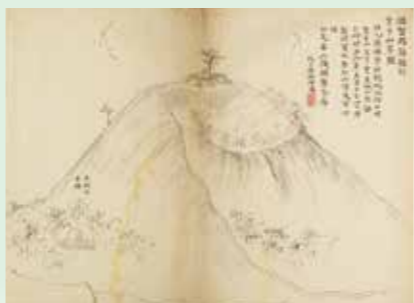
## 壬申の乱 伝承地・関連遺跡



大友皇子を祀る社寺、  
その群臣を葬った  
という塚が点在

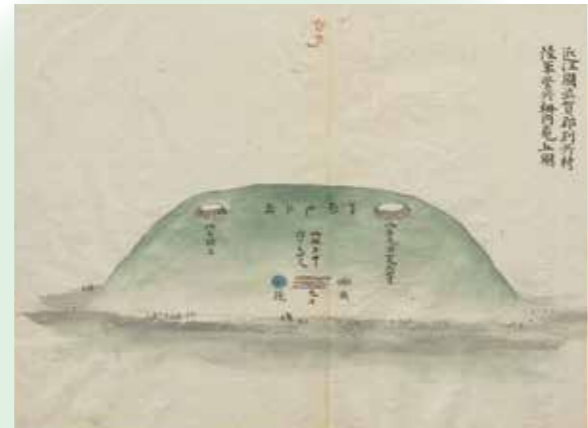


■葬り塚 膳所茶臼山古墳  
明治一八年(二八八五) 法傳寺蔵



■錦織村皇子山古墳(明せ99) (79)  
明治九年(二八七〇) 滋賀県立公文書館蔵

## 弘文天皇陵 明治時代の選定、 いくつもの候補地



■別所村亀丘(公文録) 明治9年(1876) 国立公文書館蔵  
展示期間:11月8日~23日

## 五年余りの都 近江大津宮

周辺に建立された多くの白鳳寺院



### 国宝 崇福寺塔心礎納置品

飛鳥時代 近江神宮蔵

〈舍利容器〉

- 金銅外箱
- 銀製中箱
- 金製内箱の内部
- 金蓋碧瑠璃壺
- 金銅背鉄鏡
- 無文銀銭

## 大津の白鳳寺院出土瓦

- 方形軒瓦・複弁蓮華文軒丸瓦  
南滋賀町廃寺出土 近江神宮蔵
- 複弁蓮華文軒丸瓦  
崇福寺跡出土 滋賀県立琵琶湖文化館蔵
- 複弁蓮華文軒丸瓦  
膳所廃寺出土 法傳寺蔵
- 複弁蓮華文軒丸瓦  
大津廃寺出土 大津市埋蔵文化財調査センター保管
- 複弁蓮華文軒丸瓦  
園城寺金堂周辺出土 園城寺蔵